

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	--------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称	PCB廃棄物処理推進事業	
目的	(1) 対象	島根県内でPCB廃棄物を保管している事業者
	(2) 意図	1. 保管中のPCB廃棄物を、法律で定める期限までに適正に処理させる 2. 保管中のPCB廃棄物が処理されるまでの間、適正に保管させる
事業概要	【処理費用の助成】 費用負担能力の小さい中小企業者等が保有する高濃度PCB廃棄物の処理費用を軽減するための基金に対し補助を行う。 【制度周知】 未処理事業者に対しマスメディア等を通じた制度周知を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	高濃度PCB廃棄物処理率	目標値		95.0	96.0	98.0	100.0	%
	式・定義	処理済みのPCB廃棄物量/処理開始前のPCB廃棄物保管量	取組目標値						
			実績値	94.2					
			達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	適正保管率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	保管状況等届出事業場数/PCB廃棄物保管事業場数	取組目標値						
			実績値	100.0					
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	6,536	5,420
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

【高濃度PCB廃棄物の処理状況】	未処理台数/進捗率
トランス類	2台/84.6%
コンデンサ類	37台/97.3%
安定器等・汚染物	811台/93.9%
※平成28年3月末における推計	

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

過去4回に渡る重点搬入期間での取組により、把握している高濃度PCB廃棄物の処理は約9割の処理が完了した。  
トランス・コンデンサを使用している事業者に対して実施したアンケート調査により、新たなPCB含有機器使用・保管者を把握できた。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」  
法令等で定められた処理期限までに残りの廃棄物を処理しなければならないが、県内廃棄物の処理が完了したとは言えない。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
・行政が把握しているが未処理であるもののほか、使用中のトランス・コンデンサ等の中に未届出の物が存在する可能性があること。
- ③原因を解消するための「課題」  
・届出もれがないように法制度や対象機器についての情報を広く一般県民や事業者にも周知すること。  
・未処理事業者を早期に特定し適正保管と早期処理を指導すること。  
・さらなる掘り起こし調査を実施するため、過去2回のアンケート調査結果を精査すること。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

今後とも、環境省をはじめ地方産業保安監督部、JESCO等の関係機関と連携し未処理事業者の把握を行うとともに、保有事業者に対し適正保管と早期処理を個別に指導し、処理期限までの一日でも早い処理完了を目指す。  
平成28年度は、過去2回のPCB含有有機物使用・保管アンケート調査結果の精査、聞き取りを実施する。それでも不明な事業者のPCB含有機器の使用・保管状況を把握するため、平成29年度に電気の知識有する者に調査を委託する。

## 9. 追加評価(任意記載)

平成28年度の法改正により、使用中の高濃度PCB使用安定器は原則平成32年度末までの廃棄が義務化された。確実な処理を進めるため、平成29年度に使用状況調査を委託により実施し実態を把握するとともに、チラシを作成し注意喚起を行うことが必要。